

# テレビドラマの管理支援及び推薦システムの提案

研究系卒研

0923049 清田 雅子

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

テレビドラマは毎クール新たな作品が多く放送されている。視聴者は、過去に見た作品すべてを覚えていることは困難であり、かつ新たにどの作品を見るかは限られた情報で直感的に判断している。また、テレビドラマは放送されているときに見ていなかった作品はその後見る機会が少ない。現状ではテレビドラマに関する情報を蓄積した Web サイト<sup>[1]</sup>は存在するが、自分が見た作品を記録する機能はなく、新しい作品を見る際にどれが自分の嗜好に合っているか判断が難しい。

本研究ではユーザが過去に見た作品の管理を行い、新たな作品を見る機会を作ることを目的としたテレビドラマの管理支援及び未視聴作品推薦システムを提案する。

## 2. 提案システム

本システムは、テレビドラマを見るのが好きな人を主な対象とする。本システムは、過去に視聴したことのあるテレビドラマを記録し、多くのユーザの評価情報を基にユーザの嗜好に合った未視聴作品を薦めるものである。システムの概要を図1に示す。

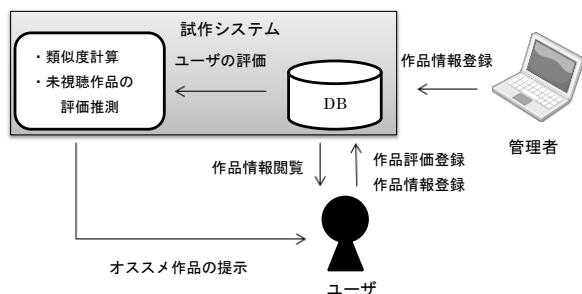


図1 システム概要図

### 2.1 作品評価登録

ユーザは現在放送中の作品一覧または作品検索により視聴した作品を検索する。過去に視聴した作品に5段階で評価をつけ、コメントと原作の既読の有無と共に記録する。

### 2.2 評価登録作品一覧

ユーザは2.1で評価登録した作品一覧をマイページで見ることができる。また、曜日別に表示でき、新しい順、古い順、評価順の並び替えも行える。

## 2.3. オススメ作品

ユーザに薦める作品を抽出する手法として協調フィルタリング<sup>[2]</sup>を用い、2種類のアプローチを行う。まず、ユーザ間類似度を用いた方法では、対象ユーザと類似度の高いユーザが未視聴作品につけた評価に基づき評価を推測する。次いで作品間類似度を用いた方法では、未視聴作品と類似度が高い作品に対象ユーザがつけた評価に基づき評価を推測する。これらの推測評価値が高い作品を提示する。

## 3. 評価実験

テレビドラマを見る人5人を対象に、実際にシステムを使用してもらいアンケートを実施した。主要な実験結果を表1に示す。

表1 評価実験結果

評価項目	平均評価
作品登録はしやすいか	4.6
評価登録した作品を見やすく整理できるか	4.0
ユーザ間類似度を用いたオススメ作品を見てみたいか	4.4
作品間類似度を用いたオススメ作品を見てみたいか	4.6
今後もシステムを利用したいか	4.8

## 4. おわりに

評価実験より、総じて高評価が得られ、本システムは過去に見た作品を管理し、オススメ作品により新たな作品を見る機会を作ることができたといえる。

今後、さらに未視聴作品の評価予測の精度を上げる、システム使用の初期段階の手間を軽減する等の改善を行うことで、テレビドラマを見る人にとってより長期的に利用しやすいシステムを目指す。

### 参考文献

- [1] ◇ テレビドラマデータベース ◇  
<http://www.tvdrama-db.com/>
- [2] Dietmar Jannach, Markus Zanker, Alexander Felfernig, Gerhard Friedrich, 田中克己, 角谷和俊 監訳: 情報推薦システム入門—理論と実践— Recommender Systems: An Introduction, p.1-3, 13-21, 共立出版株式会社(2012)